

ふうすいがい じしんとく たい とうげこうたいおう
風水害・地震等に対する登下校対応マニュアル

保存版

横浜市立稲荷台小学校

令和3年4月版

	状 況	学校・家庭の対応	メール配信等
登 校 前	ア 朝6時の段階で 「暴風警報」「大雪警報」 「暴風雪警報」「特別警報」 「火山噴火降灰予報」が1つ でも発表されている。※解説2	(自動的に) 市立学校一斉 臨時休校 ～横浜市学校防災計画による～ (放課後キッズクラブ 第一区分休業。第二区分は「特別警報」以外 原則実施)	○メール等を待たず、まずは、 警報にてご判断ください。 ※解説2
	イ 「暴風・大雪・暴風雪・特別 警報」はないが、強風、大雨、 大雪等で登校が危険とご家庭 で判断。	(原則として) 通常授業 ○「危険」と判断した場合は、登校を見合わせて ください。 ※解説1	
	ウ 大地震発生 横浜市域の一箇所でも 震度5強以上を観測 帰宅後、登校前の時間帯(放課 後、休日、夜間等)に、震度5強 以上の地震が発生した。	(原則として、自動的に) 当日と翌日は全市一斉 臨時休校 ○被害が少ないなど、学校が判断すれば、授業実 施の場合あり。 (キッズ第一区分・第二区分臨時休業) 職員体制が整うまで時間がかかると想定されます。	○実施の場合、メール配信に努 めます。
	エ 南海トラフ地震に 関する臨時情報 「平常時と比べて相対的に発生するリスクが 高まった」等の情報が発表された。(平成29 年11月から、自動的に休校となる「警戒宣言」 は出ないことになりました。)	○市教委から「全市臨時休校」の指示があれば休校。 地域の災害危険性等から、中学校区で登校見合わせ の判断をする場合もあります。 ○全市臨時休校にならない場合は、原則として集団登 校とせず、各ご家庭で登校の安全を判断及び確保し、 登校させてください。 ○可能な保護者の皆様は、付き添いや地域の集合場所に 立つなど、登校の安全確保にご協力ください。	○メール配信に努めますが、不可能の 場合もあります。 ○横浜市、市立学校の対応についてホ ームページ等で確認するとともに ご家庭で安全確保を図ってくださ い。
	オ Jアラート(全国瞬時 警報システム)で、自然災害 以外の警報(テロなど)が神奈川 県を含んで発せられている。	○警報が出ている間、登校を見合わせ、建物内で安全 を確保してください。 ○警報解除と判断したら、メール配信を行います。 ○各ご家庭で登校の安全を判断及び確保し、メール配信 後に、登校を開始してください。 ○可能な保護者の皆様は、付き添いや地域の集合場所に 立つなど、登校の安全確保にご協力ください。	○学校は、原則休校にはしません。 ○メール配信等に努めますが、即時配 信は困難です。 ○登校時間等はメール配信にて連絡し ます。
登 校 後	カ 登校後天候が悪化 「暴風警報」「大雪警報」 「暴風雪警報」「特別警報」 「火山噴火降灰予報」等発表。	(状況を総合的に判断し、メール配信等により) 預かり・引き渡し ○状況によっては、定刻、または、下校時刻を前 後に変更して、 まとまって方面別で下校。 ※下校後、放課後キッズクラブに参加している児童は、キッズ にて学校と連携して留め置き引き取り。 ※方面別下校の場合、可能な保護者の皆様は、地域の集合場所 に立つ、出迎えるなどの支援をお願いいたします。	○状況を総合的に判断し、メー ル配信で対応を伝達するよ う努めます。 ○対応の変更も逐次、伝達する ように努めます。
	キ 地震発生(震度5弱以下) 震度5強に達していないが、交通網の混 乱、停電、火災発生などで児童を帰宅させる ことが危険と判断。		
	ク 南海トラフ地震に関する「臨 時情報」が発表された。		
	ケ 下校時間に地域の停電。		
	コ ○○・○○線などの運転再開 の見通しが立たない。	○通常の下校時間帯に天候等が回復すれば、通常 下校とする場合があります。 ○家に帰っても停電、交通網の不通で保護者が帰 れない等と判断された場合は、預かり、引き取り にすることがあります。 このような場合、学校からのメール配信やホー ムページをご確認ください。	
	サ Jアラート(全国瞬時 警報システム)で神奈川県に も、自然災害以外(テロなど)の 警報がでた場合。		
	シ その他事件・事故等。		
ス 大地震発生 横浜市域の一箇所でも 震度5強以上 の地震を観測した。	(自動的に) 預かり・引き渡し ○迎えのない場合、宿泊体制。 (下校後、キッズクラブに参加している児童は、キッズにて、 学校と連携して留め置き・引き取り。)	○メール配信で情報発信に努め ます。 ○遠方においででの保護者様は、児 童は学校で安全に過ごしてい ると考え、まず、身の安全を図 ってください。	

※解説1 悪天候で判断して休んだり、遅れたりする場合、欠席、遅刻とはしません。欠席連絡してください。(電話可)

※解説2 「警報」は、地上波デジタル放送の「データ連動画面」や「防災・気象サイト」から確認し、ご判断ください。

「警報」を知る方法

便利でわかりやすい「警報」の見方

＝地上波デジタルテレビの「dデータ連動」放送を使う

テレビ（NHK地上波デジタル等）で、データ放送から横浜地域の「警報」をリアルタイムで確認することができます。



テレビリモコンの「dデータ」ボタンを押す→「防災・災害情報」などで、「警報注意報」に進むと、現在横浜地域に出ている「警報」を見ることができます。

その他の「警報」を知る方法 「横浜市学校防災計画」より

1 横浜市危機管理室ホームページ「横浜市の気象情報」

(1) インターネットに接続し、横浜市ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/>) 画面から暮らし・総合→防災・救急・防犯→防災・災害をクリックすると各メニューが表示されます。その中の「防災情報」をクリックすると、横浜市内の各地方の警報・注意報発表状況が表示されます。

2 横浜市防災情報ホームページ（携帯電話版）

(1) 携帯電話（パソコンも可）でインターネットに接続し、次のURLを入力してください。
<http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>
(2) 表示された画面の中から、「緊急なお知らせ」や「地震情報」「気象特別警報・警報・注意報」等を選択すると、横浜・川崎に対し、直近の時刻に発表された情報が表示されます。

3 横浜市「防災情報Eメール」配信

上記2「横浜市防災情報サービス」の内容は、あらかじめメールアドレスを登録すれば、Eメールで受信することができます。配信される情報の種類は、任意に設定可能です。登録を希望する場合は、携帯電話（パソコンも可）で、上記2の「横浜市防災情報」ホームページから手続きをしてください。

4 横浜市 防災情報ポータル

横浜市防災情報ポータルで検索すると緊急情報や避難勧告、避難所情報などを知ることができます。

- テレビのニュース番組等の「気象情報コーナー」等で、各地の警報発表状況が放送された場合に確認できます。ただし、休校判断時刻前後に放送されるとは限らないことに留意の必要があります。
- NTTの「177」では、電話をかけた時点で警報等が発表継続中であれば、冒頭で放送されます。ただし、利用が集中した場合、つながりにくくなる場合があります。